

会 議 録 要 旨

(1) 会議の名称	第 1 回 北陸新幹線南越駅周辺整備基本計画策定委員会
(2) 開催日時	平成 2 6 年 9 月 3 0 日 (火 曜 日) 午 後 7 時 ~ 8 時 3 0 分
(3) 開催場所	越前市市民ホール 2 階 第三会議室
(4) 出席委員氏名 (5 0 音 順)	飯田委員、川上委員、河崎委員、河瀬委員、笹川委員、清水委員、中桐委員、南保委員、平井委員、平戸委員、山田委員
(5) 欠席委員氏名 (5 0 音 順)	桶谷委員、河野委員、富田委員、福岡委員
(6) 会議議題	南越駅周辺整備に係るこれまでの経緯について他
(7) 傍聴者の数	6 人
(8) 会議資料名称	北陸新幹線南越駅周辺整備基本計画策定委員会第 1 回資料 資料集～各界・各世代から 未来へのメッセージ～
(9) 会議の内容の 要旨	<ul style="list-style-type: none"> ・開発区域については、整備構想策定時からの社会情勢の変化などを踏まえ、今後の議論の中で検討する。 ・単独駅である南越駅において求められることとして、以下の 3 点が考えられる。 地方圏で特に重要で、越前市の関連計画でも示されている、コンパクトなまちづくりの考え方にたったうえでの武生駅との機能の棲み分けをどのように考えるか。 南越駅周辺まちづくりとして考えるべき圏域及び駅勢圏、その圏域において南越駅が担うべき役割。市のみで考えるのか、周辺市町や福井県、北陸地方、近畿地方といった広域的な視点まで含むのか。 越前市のまちづくりビジョンとの整合性。越前市は福井県で名だたる都市であり、工業・ものづくりの市としての特色を持つ越前市における市のビジョンが既に示されていると思うが、それらと南越駅の関わり方をどう見極めるか。 ・整備構想では、新幹線駅として、間違いなく必要な交通結節点としての機能・施設については「拠点」、交流については、周辺へ繰り出すための機能が必要と考え「起点」という言葉を用いている。改めてその考え方を検討すべきである。 ・インターチェンジや南越駅から周辺の店舗、施設への誘引方法について懸念している。 ・南越駅を軸とした観光まちづくりについて、市のビジョンを示していただきたい。 ・立地条件の似た新幹線駅事例について、次回資料として準備していただきたい。 ・越前市だけではなく、丹南地域の駅として検討する必要がある。 ・整備構想策定時の利用客数予測の時点修正については、今後の検討にあたって重要なフレームとなるため、次回、需要予測方法も含め提示していただきたい。 ・越前市の平成 37 年以降の人口予測資料や、周辺市町、福井県の将来人口予測

	資料を次回準備していただきたい。
(10) その他	次回日程は決まり次第改めて連絡。 11月初旬に北陸新幹線新駅への視察を予定。